

2024年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	【藤キャリア】	3年	1単位	教科書	論理コミュニケーション（徳恵義塾大学SFC研究所プラットフォームデザインラボラトリ）	副教材等	履修対象・ 使用教室等	3年	
教科・ 科目の 目標	(1) 「文章の設計図」を適切に作成し、文章を構成することができるようになる。 (2) 自身の意見を根拠と事例をもとに構成し、他者に適切に伝えることができ、また、他者の意見を論理的に捉えることができるようになる。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって論理的思考力を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。								
評価 の 観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	「文章の設計図」を適切に作成し、文章を構成することができるようにしている。		自身の意見を根拠と事例をもとに構成し、他者に適切に伝えることができ、また、他者の意見を論理的に捉えることができるようにしている。			言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉が効果的に使おうとしている。			
評価 方法	*単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 *単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	学習プリント		毎授業時			50	50	50	
	単元テスト・課題		内容理解			50	50	50	
	〔観点別配分％〕		〔3観点の比重を％で示しています〕						
月進行 (計画)	【単元名】 学習項目名	配当 時間 (計画)	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔○〕	
4 5	「文章の設計図」を作れるようになる。	6	・自分の意見・根拠・事例を「文章の設計図」に書き込む。			学習プリント	○	○	○
						単元テスト・課題	○	○	○
6 7	「文章の設計図」をもとに文章を書く。	6	・自分の意見・根拠・事例を「文章の設計図」に書き込み、構成立てて文章作成を行う。			学習プリント	○	○	○
						単元テスト・課題	○	○	○
8 9	ねらいに即した文章を書けるようになる。	5	・発問、課題に対して適切な文章を「文章の設計図」を活用しながら書く。			学習プリント	○	○	○
						単元テスト・課題	○	○	○
10 11	ねらいに即した文章を、制限時間内に書けるようになる。	8	・発問、課題に対して適切な文章を「文章の設計図」を活用しながら短時間で書く。			学習プリント	○	○	○
						単元テスト・課題	○	○	○
12 1	進路に応じた文章作成力を磨く。	6	・自らの進路を見据えて、必要な文章作成力を身に付ける。			学習プリント	○	○	○
						単元テスト・課題	○	○	○
2 3	社会生活に応じた文章作成力を磨く。	4	・社会生活を見据えて、必要な文章作成力を身に付ける。			学習プリント	○	○	○
						単元テスト・課題	○	○	○
学習の アドバイス	・週に1回しか授業時間はないので、日ごからの意識が重要だと思います。小論文や志望理由書などで文章を作成する機会はずっとありますので、頑張りましょう。								